

産科婦人科学講座

著 書

- 1 奥川 馨：子宮頸がん Q09がんが子宮頸部にとどまっていると言われました。腹腔鏡手術の治療は可能なのでしょうか？。患者さんご家族のための子宮頸がん・子宮体がん・卵巣がん治療ガイドライン第3版, P46-47, 2023, 7, 金原出版。

原著論文

- 1 *Hiroshi Yagi, Ichiro Onoyama, Kazuo Asanoma, Minoru Kawakami, Shoji Maenohara, Keisuke Kodama, Yumiko Matsumura, Norio Hamada, Emiko Hori, Kazuhisa Hachisuga, Masafumi Yasunaga, Tatsuhiro Ohgami, Kaoru Okugawa, Hideaki Yahata, Kiyoko Kato: Tumor-derived ARHGAP35 mutations enhance the Gα13-Rho signaling axis in human endometrial cancer. *Cancer Gene Ther.*; 30(2): 313-323, 2023, 2.
- 2 Okugawa K, Yahata H, Ohgami T, Yasunaga M, Asanoma K, Kobayashi H, Kato K: An update of oncologic and obstetric outcomes after abdominal trachelectomy using the FIGO 2018 staging system for cervical cancer: a single-institution retrospective analysis. *J Gynecol Oncol.*; 34(3): e41, 2023, 5.
- 3 神下 優, 門田千穂, 光 貴子, 八並直子, 金井督之, 室 雅巳, 安永牧生：当院における鏡視下手術の合併症の検討。佐賀産科婦人科学会佐賀県産婦人科医会会誌。第34号, P36-41, 2023, 3, 1.
- 4 *Kanao Gondo, Fumio Yamasaki, Makoto Nomiyama, Nami Hisamoto, Natsumi Yamashita, Takuya Nakagawa, Masazumi Ikeda, Satoko Tsuda, Masato Ishimatsu, Yuko Oshima, Takeshi Ono, Yutaka Kozuma, Yukiko Nakura, Itaru Yanagihara, Keisuke Tsumura: Relationship of maternal inflammatory response and fetal inflammatory response to duration and intensity of intra-amniotic infection and inflammation, *Placenta* 137, 23-30, 2023.
- 5 〇橋口真理子, 梅崎 靖, 大隈恵美, 大隈良一, 秀島未紗子, 野口光代, 内山倫子, 中尾佳史, 横山正俊：子宮頸部細胞診 Atypical glandular cells (AGC) 症例の検討。日本臨床細胞学会九州連合会雑誌, 第54号, 25-31, 2023, 7.
- 6 *Akira Kikuchi, Hiroshi Yoshida, Hitoshi Tsuda, Shin Nishio, Shiro Suzuki, Kazuhiro Takehara, Nao Kino, Toshiyuki Sumi, Kazuyoshi Kato, Masatoshi Yokoyama, Kazuto Nakamura, Masashi Takano, Shinya Sato, Hisamori Kato, Masato Tamate, Koji Horie, Tomoyasu Kato, Atsuhiko Sakamoto, Masaharu Fukunaga, Tsunehisa Kaku, Masayuki Yoshida, Nobuo Yaegashi, Toyomi Satoh: Clinical characteristics and prognostic factors of endometrial stromal sarcoma and undifferentiated uterine sarcoma confirmed by central pathologic review: A multi-institutional retrospective study from the Japanese Clinical Oncology Group. *Gynecologic Oncology* Vol.176, Pages 82-89, 2023, 9.
- 7 *Yasunaga M, Yahata H, Okugawa K, Hori E, Hachisuga K, Maenohara S, Kodama K, Yagi H, Ohgami T, Onoyama I, Asanoma K, Kato K: Decision-making for Subsequent Therapy for Patients With Recurrent or Advanced Endometrial Cancer Based on the Platinum-free Interval. *Am J Clin Oncol.* 1; 46(9): 387-391, 2023, 9.
- 8 Misako Hideshima, Mariko Hashiguchi, Atsuko Honda, Yasushi Umezaki, Ryoichi Okuma, Takako Hikari, Asako Fukuda, Kaoru Okugawa, Masatoshi Yokoyama: Are HPV-negative lesions concerned

for the introduction of primary HPV testing for cervical cancer screening in Japan?. The journal of obstetrics and gynaecology research Volume 49, Issue 12, 2860-2867, 2023, 12, 1.

- 9 Masazumi Ikeda, Yuko Oshima, Keisuke Tsumura, Kanako Gondo, Takeshi Ono, Yutaka Kozuma, Yukiko Nakura, Itaru Yanagihara, Makoto Nomiyama, Masatoshi Yokoyama: Antibiotic administration reduced intra-amniotic inflammation 7 days after preterm premature rupture of the membranes with intra-amniotic infection. J Matern Fetal Neonatal Med, 2023 Dec; 36(2), 2023, 12, 1.
- 10 *Makoto Nomiyama, Takuya Nakagawa, Fumio Yamasaki, Nami Hisamoto, Natsumi Yamashita, Ayaane Harai, Kanako Gondo, Masazumi Ikeda, Satoko Tsuda, Masato Ishimatsu, Yuko Oshima, Takeshi Ono, Yutaka Kozuma and Keisuke Tsumura: Contribution of Fetal Inflammatory Response Syndrome (FIRS) with or without Maternal-Fetal Inflammation in The Placenta to Increased Risk of Respiratory and Other Complications in Preterm Neonates. Biomedicines 2023, 11, 611, 2023.
- 11 *Kodama K, Tateishi C, Oda T, Cui L, Kuramoto K, Yahata H, Okugawa K, Maenohara S, Yagi H, Yasunaga M, Onoyama I, Asanoma K, Mori T, Katayama Y, Kato K: Development of novel tracers for sentinel node identification in cervical cancer. Cancer Sci. 114(11): 4216-4224, 2023 Nov.

総 説

- 1 横山正俊, 光 貴子: —HPV ワクチン接種再開に向けて—. 佐賀産科婦人科学会佐賀県産婦人科医学会誌. 第34号, P30-35, 2023, 3, 1.

症例報告

- 1 *山下夏未, 橋口真理子, 山本徒子, 徳永真梨子, 大隈良一, 梅崎 靖, 中尾佳史, 横山正俊: 経過観察中に腺癌併存が顕在化した HSIL/CIN 3 合併妊娠. 佐賀産科婦人科学会佐賀県産婦人科医学会誌. 第34号, P42-47, 2023, 3, 1.
- 2 大隈良一, 梅崎 靖, 神藤 愛, 秀島未紗子, 大隈恵美, 横山正俊: 治療待機中に子宮穿孔をきたした子宮頸癌の一例. 佐賀産科婦人科学会佐賀県産婦人科医学会誌. 第34号, P48-51, 2023, 3, 1.
- 3 神藤 愛, 梅崎 靖, 大隈良一, 大原紀子, 橋口真理子, 横山正俊: 成熟嚢胞性奇形腫悪性転化の1例. 佐賀産科婦人科学会佐賀県産婦人科医学会誌. 第34号, P56-59, 2023, 3, 1.
- 4 大隈良一, 中尾佳史, 橋口真理子, 梅崎 靖, 大隈恵美, 横山正俊: 子宮頸部扁平上皮癌手術および補助放射線療法後25年を経過して, 膣断端に発生した扁平上皮癌は再発か?. 産科と婦人科. Vol. 90 No. 5 : 553-559, 2023.
- 5 池田正純, 山本徒子, 奥川 馨, 横山正俊: 子宮腺筋症核出術後に凍結胚移植で成立した双胎妊娠の子宮破裂. 産婦人科の実際. Vol. 72 No. 13 : 1525-1530, 2023.
- 6 *清武早紀, 安永昌史, 蜂須賀一寿, 安武伸子, 前之原章司, 八木裕史, 大神達寛, 小野山一郎, 奥川 馨, 浅野間和夫, 矢幡秀昭, 加藤聖子: 子宮体癌再発を疑った大網放線菌症の1例. 福岡産科婦人科学会雑誌, 46(2) : 18-22, 2023.

学会発表

国内全国規模の学会

- 1 大隈香奈, 山本徒子, 神藤 愛, 池田正純, 中川拓也, 横山正俊: 妊娠中の血小板減少症について. 第75回日本産科婦人科学会学術講演会. 2023, 5, 12-14.
- 2 秀島未紗子, 梅崎 靖, 神藤 愛, 中川拓也, 池田正純, 大隈香奈, 大隈良一, 徳永真梨子, 大隈

- 恵美, 奥川 馨, 横山正俊: HPV 検査併用子宮頸がん検診における現状と問題点. 第75回日本産科婦人科学会学術講演会. 2023, 5, 12-14.
- 3 池田正純, 山本徒子, 神藤 愛, 大隈香奈, 大隈良一, 梅崎 靖, 横山正俊: 子宮腺筋症核出術後に凍結胚移植で成立した双胎妊娠の子宮破裂. 第75回日本産科婦人科学会学術講演会. 2023, 5, 12-14.
 - 4 神藤 愛, 大隈恵美, 秀島未紗子, 大隈良一, 徳永真梨子, 梅崎 靖, 奥川 馨, 横山正俊: 当科におけるがん遺伝子パネル検査の有効性について. 第75回日本産科婦人科学会学術講演会. 2023, 5, 12-14.
 - 5 大隈良一: 当科で経験した Trousseau 症候群を併発した卵巣癌の2例. 第75回日本産科婦人科学会学術講演会. 2023, 5, 12-14.
 - 6 山本徒子, 野見山亮, 原井綺音, 久本菜美, 山下夏未, 石松真人, 津田聡子, 大島侑子, 小野剛史, 上妻友隆, 津村圭介: 子宮内感染・炎症の原因によって新生児呼吸障害に違いはあるか. 第75回日本産科婦人科学会学術講演会. 2023, 5, 12-14.
 - 7 ○橋口真理子, 秀島未紗子, 大隈良一, 梅崎 靖, 大隈恵美, 野口光代, 内山倫子, 奥川 馨, 横山正俊: 日本における HPV 検査単独法は実施可能か?. 第64回日本臨床細胞学会総会(春期大会) 日本臨床細胞学会雑誌, 第62巻補冊1号, P240. 2023, 6, 11.
 - 8 梅崎 靖, 橋口真理子, 大隈良一, 大隈恵美, 奥川 馨, 横山正俊: 分葉状頸部腺過形成(LEGH)と胃型腺癌の術前子宮頸部細胞診の検討. 第64回日本臨床細胞学会総会(春期大会) 日本臨床細胞学会雑誌, 第62巻補冊1号, P243. 2023, 6, 10.
 - 9 横山正俊: 子宮頸がん検診に HPV 検査をどう使うか—佐賀での併用検診の経験から—. 第31回日本がん検診・診断学会総会. 2023, 6, 24.
 - 10 池田正純, 山本徒子, 大隈香奈, 大隈良一, 梅崎 靖, 横山正俊: 子宮腺筋症核出術後に凍結胚2個移植で成立した双胎妊娠の流産期子宮破裂. 第59回日本周産期・新生児医学会学術集会. 日本周産期・新生児医学雑誌, 第59巻学術集会プログラム号, P434. 2023, 7, 9-11.
 - 11 福田亜紗子, 大隈良一, 橋口真理子, 大隈恵美, 梅崎 靖, 奥川 馨, 横山正俊: 子宮頸癌予後に影響を及ぼす因子の検討. 第65回日本婦人科腫瘍学会学術講演会. 日本婦人科腫瘍学会雑誌, 41巻3号, P318. 2023, 7, 14.
 - 12 神下 優, 八並直子, 安永牧生: 当院産婦人科における抗がん剤治療関連心筋障害へ対する取り組み. 第65回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 日本婦人科腫瘍学会雑誌, 41巻3号, P385. 2023, 7, 14.
 - 13 ○長岡 繁, 中園貴彦, 山口 健, 入江裕之, 大隈良一, 横山正俊, 雪本薫平, 井樋有紗, 甲斐敬太: 大網原発腫瘍の2例. JSAWI2023第24回シンポジウム. 2023, 9, 1-2.
 - 14 *野口光代, 八並直子, 内山倫子, 横山正俊: COVID19流行下に勤務する看護師に用いた桂枝加竜骨牡蛎湯の3例. 第42回産婦人科漢方研究会学術集会. 2023, 9, 3.
 - 15 Yu Kamishita, Makio Yasunaga, Naoko Yatsunami, Yuki Yamaguchi, Chiho Kadota, Kaoruko Yoshitake: Evaluation of blood flow with Indocyanine Green (ICG) in patients with adnexal torsion. 第63回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会. P238. 2023, 9, 14-16.
 - 16 *八並直子, 神下 優, 吉武薫子, 光 貴子, 安永牧生: バイセクトとバイクランプを使用した, ダブルバイポーラ法による TLH. 第63回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会. P238. 2023, 9,

14-16.

- 17 吉武薫子, 八並直子, 神下 優, 安永牧生: 異所性妊娠の腹腔鏡手術後に発生した腓骨神経麻痺の1例. 第63回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会. P386. 2023, 9, 14-16.
- 18 横山正俊: HPV 併用検診における検診の広域化と LBC 導入の意義 - 佐賀での併用検診の経験から - . 第32回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会. 2023, 10, 14-15.
- 19 横山正俊: 会長講演 HPV 研究そして細胞診. 第62回日本臨床細胞学会秋期大会. 2023, 11, 4 - 5.
- 20 奥川 馨: 子宮頸がんについて～診断・治療から予防まで～, (ランチョンセミナー). 第62回日本臨床細胞学会秋期大会. 2023, 11, 4 - 5.
- 21 奥川 馨, 橋口真理子, 秀島未紗子, 大隈良一, 栗原麻希子, 福田亜紗子, 梅崎 靖, 野口光代, 内山倫子, 横山正俊: シンポジウム HPV 検査導入後の細胞診の役割 HPV 検査併用検診の有用性と HPV 単独検診の可能性. 第62回日本臨床細胞学会秋期大会. 2023, 11, 4 - 5.
- 22 *久本菜美, 八並直子, 光 貴子, 神下 優, 金井督之, 安永牧生: 腓腫瘍術後に発症した体重減少性無月経の1例. 第38回日本女性医学学会学術集会, 日本女性医学学会誌, P180. 2023, 12, 2 - 3.
- 23 秀島未紗子, 福田亜紗子, 山本徒子, 横山正俊: 細胞診 NILM・HPV 陽性の結果から1年後に子宮頸癌の診断に至った2症例. 第38回日本女性医学学会学術集会, 日本女性医学学会誌, P194. 2023, 12, 2 - 3.
- 24 *八並直子, 光 貴子, 久本菜美, 神下 優, 金井督之, 安永牧生: 当院における子宮体がん患者の糖尿病, 高血圧, 脂質異常症の現状. 第38回日本女性医学学会学術集会, 日本女性医学学会誌, P200. 2023, 12, 2 - 3.
- 25 *坂西 愛, 野口光代, 横山 正俊: 当科におけるアスリート外来について, 第38回日本女性医学学会学術集会, 第38回日本女性医学学会学術集会, 日本女性医学学会誌, P204. 2023, 12, 2 - 3.
- 26 神下 優, 八並直子, 安永牧生: 梅毒を疑った2症例. 第38回日本女性医学学会学術集会, 日本女性医学学会誌, P223. 2023, 12, 2 - 3.

地方規模の学会

- 1 奥川 馨: 子宮頸がんについて～診断・治療から予防まで～. Cervical Cancer Symposium. 2023, 1, 20.
- 2 奥川 馨: 子宮頸部摘出術～これまでに振り返って～. 第6回鹿児島婦人科悪性腫瘍セミナー. 2023, 2, 10.
- 3 大隈恵美: 当院におけるレンパチニブ+ペムブロリズマブ併用療法の使用経験からの考察. 子宮体癌治療を考える会 in 九州. 2023, 2, 28.
- 4 奥川 馨: 特別講演「子宮頸がんについて」. 第39回佐賀県臨床細胞学会地方会 令和4年度子宮(頸)がん検診従事者講習会. 2023, 3, 4.
- 5 神藤 愛, 大隈恵美, 池田正純, 秀島未紗子, 大隈香奈, 大隈良一, 徳永真梨子, 山本徒子, 梅崎 靖, 奥川 馨, 横山正俊: 当科でがん遺伝子パネル検査を実施した患者の検討. 第80回九州連合産科婦人科学会, 第74回九州ブロック産婦人科医会学術講演会. 2023, 5, 27-28.
- 6 大石将平, 大隈良一, 山口加恵, 瓜生泰恵, 吉武薫子, 栗原麻希子, 徳永真梨子, 福田亜紗子, 梅崎 靖, 奥川 馨, 横山正俊: 卵巣癌との鑑別に苦慮した胃腸管外間質腫瘍の一例. 第80回九州連

- 合産科婦人科学会，第74回九州ブロック産婦人科医会学術講演会．2023，5，27-28.
- 7 山口加恵，大隈良一，梅崎 靖，大石将平，神藤 愛，池田正純，秀島未紗子，大隈香奈，徳永真梨子，山本徒子，奥川 馨，横山正俊：帝王切開後の皮膚瘢痕部に生じた希少部位子宮内膜症．第80回九州連合産科婦人科学会，第74回九州ブロック産婦人科医会学術講演会．2023，5，27-28.
 - 8 大石将平：術後に再発した子宮腫瘍の症例．第28回佐賀産婦人科・放射線科フォーラム．2023，6，23.
 - 9 山口加恵：術前画像で由来臓器の診断に苦慮した骨盤内腫瘍の症例．第28回佐賀産婦人科・放射線科フォーラム．2023，6，23.
 - 10 大石将平，池田正純，山本徒子，奥川 馨，横山正俊：子宮内反症の管理．佐賀産婦第227回学術研修会．2023，7，2.
 - 11 *山崎温詞，八並直子，久本菜美，光 貴子，北川早織，神下 優，金井督之，安永牧生，室 雅巳：産褥5日目に発症した脳出血の一例．佐賀産婦第227回学術研修会．2023，7，2.
 - 12 *八並直子，神下 優，山崎温詞，久本菜美，光 貴子，北川早織，金井督之，室 雅巳，安永牧生：骨盤臓器脱に対する Native tissue repair (NTR) 手術の治療成績．佐賀産婦第227回学術研修会．2023，7，2.
 - 13 山口加恵，奥川 馨，瓜生泰恵，徳永真梨子，梅崎 靖，横山正俊：尿道周囲転移を伴った子宮体癌に対し前方骨盤除臓術を実施した一例．佐賀産婦第227回学術研修会．2023，7，2.
 - 14 *坂西 愛，野口光代，大隈良譲，横山正俊：当科における女性アスリート外来について．佐賀産婦第227回学術研修会．2023，7，2.
 - 15 梅崎 靖，大隈良一，大隈香奈，池田正純，吉武薫子，瓜生泰恵，奥川 馨，横山正俊：大学病院産婦人科での教育改革の試み．佐賀産婦第227回学術研修会．2023，7，2.
 - 16 山本徒子，副島英伸：「基幹施設における遺伝診療への取り組みと今後の問題点について」佐賀県の出生前遺伝カウンセリングの現状と問題点．第29回出生前から小児期にわたるゲノム医療フォーラム．2023，11，5.
 - 17 横山正俊：予防できる子宮頸がんー検診とワクチンの意義ー．子宮頸がん検診症例検討会講演会．2023，12，4.
 - 18 *光 貴子，神下 優，八並直子，北川早織，久本菜美，金井督之，室 雅巳，安永牧生：佐賀の産婦人科医師自身の妊娠・出産・育児を取り巻く環境について～アンケート調査の報告．佐賀産婦第228回学術研修会．2023，12，9.
 - 19 神下 優，久本菜美，北川早織，光 貴子，八並直子，金井督之，室 雅巳，安永牧生：当院における良性疾患の子宮摘出の変遷．佐賀産婦第228回学術研修会．2023，12，9.
 - 20 山口加恵，吉武薫子，秀島未紗子，梅崎 靖，奥川 馨，横山正俊：卵巣静脈原発平滑筋肉腫の一例．佐賀産婦第228回学術研修会．2023，12，9.
 - 21 大石将平，瓜生泰恵，栗原麻希子，池田正純，梅崎 靖，奥川 馨，横山正俊：胎盤分葉状解離性平滑筋腫の一例．佐賀産婦第228回学術研修会．2023，12，9.

研究助成等

職 名	氏 名	補助金(研究助成)等の名称	種 目	1：代表 2：分担 該当番号を記入	研 究 課 題 等	交付金額 (千円)
教 授	横山 正俊	中外製薬株式会社	研究活動への 支援	1	子宮頸がん発癌過程における 局所免疫の役割_免疫チェッ クポイント分子と喫煙との関 連	700